

問三									
(ヶ)	(ヶ)	(ヰ)	(ヰ)						
3	3	2	1	2	4	2	1	3	
4 点	4 点	4 点	4 点	4 点	4 点	2 点	2 点	2 点	

問二					
(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)
4	1	3	4	2	1
4 点	4 点	4 点	4 点	4 点	4 点

問一								
(ヰ)	(イ)				(ア)			
	d	c	b	a	d	c	b	a
3	4	1	2	2	3	1	2	4
4 点	2 点							

問五							
(イ)							(ア)
える。	こと	が	大	切	だ	とい	
	で	あ	具	を	一	現	ま
	真	る	体	表	流	ま	狭
	似	も	の	面	の	ら	い
	る	の	裏	的	求	な	枠
	ま	ま	に	な	め	い	に
	ま	に	な	品	、	表	収
40			30				
6 点							4 点

(イ)は正答例。

問四			
(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)	(ヰ)
4	1	3	2
4 点	4 点	4 点	4 点
4	4	4	4

# 採点上の注意

## 【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によつて判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

## 【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であつても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず二点減点とする。
- 表現に問題があり、それによつて明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によつて判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）がある場合と、表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがつて、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていかない解答は誤答とする。

## ○ 問五(イ)について

- ・ 指定語句は「**枠**」と「**表面的**」である。

### 得点項目A

内容については、次の二点に触れていること。

- (a) 「（狭い）枠に收まらない表現を求める」こと。
- (い) 「（一流の作品を）表面的な具体的の裏にあるものまで真似る」こと。

### ＜正答例＞

作品制作において自身の表現の幅を広げるには、

自分の関心の**枠**を広げつつ、尊敬する人の作品を**表面的な具体的の裏**にある思想まで真似ること

40

作品制作において自身の表現の幅を広げるには、  
一流の人を**表面的な**部分にとどまらないところも真似ることと、  
**枠**を越えた表現を求める

30